



1月給食だより

令和8年1月8日
江戸川区立大杉東小学校
校長 高橋 真

がつ きゅうしよく もくひょう
1月の給食目標

た もの かんしん
食べ物に関心をもとう

あけましておめでとうございます 年

ふゆやす お がつき はじ むかし いちがつい にがつに さんがつ
冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月
さ ねんどまつ む つきひ なが はや かん じき かぜ
去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪
りゅうこう たいちようかんり いたそうき にち
やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日
にち たいせつ す おも
1日を大切に過ごしてほしいと思
ます。



ことし
今年(ことし)はうま年!

うまのよう^{やさい}に野菜を
た^たっぷり食べよう!

はし^{つか}をうま^{つか}く使いこなして
きれいに食べよう!

よく^{あじ}味わってう^みま味
を感じよう!

とし だま お年玉はもちだった!?



しょうがつ ふだん にほんぶんか かん きかい おお
お正月は、普段より日本文化を感じる機会が多かったのではな
いでしょうか。さて、みなさんにとって、お正月の楽しみといえばお年玉。新
ねん いわ おとな こ こづか わた ふうしゅう しょうがつ
年を祝って、大人から子どもへお小遣いを渡す風習です。もともとは、お正月
としがみさま としがみさま そな としがみさま おく もの わ
の「歳神様(年神様)」にお供えた「もち」を、歳神様からの贈り物として分
あた はし としだま としがみさま たまい い み
け与えたことが始まりとされ、「年玉」とは「歳神様の魂」を意味します。



★1月の献立について★

みなさん、初詣に行ったり、おみくじを引いたりしましたか? 23日はおみくじコロッケです。チーズ、
うずらの卵、ウインナーのうち、どれかがコロッケの中に入っています。お楽しみに☆
26~30日の学校給食週間では、昔から食べられているおにぎり、きなこ揚げパン、ミルメーク、
くじらカツが登場します。ぜひ、お便りを読んで、学校給食の大切さについて考えてほしいと思います。





1/24~1/30は
ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん
「全国学校給食週間」です

にほんがっこうきゅうしょく

日本の学校給食のあゆみ

がっこうきゅうしょくはじ

学校給食の始まり



明治22（1889）年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正12（1923）年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり

やざかな
焼き魚
つけもの
漬物
めいじ
(明治22年ごろ)



ごしき
五色ごはん
えいよう
栄養みそ汁
たいしよく
(大正12年ごろ)



支援物資による学校給食の再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21（1946）年12月24日にLARA（アジア救援公認団体）から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

ミルク

トマトシチュー
しょうわ
(昭和22年ごろ)



コッペパン・ミルク
クジラの竜田揚げ
せん切りキャベツ
しょうわ
(昭和25~30年ごろ)

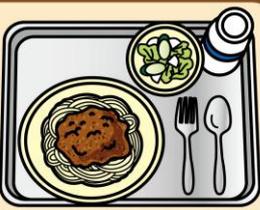


バラエティー豊かな献立内容に



昭和29（1954）年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯（ご飯）が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。

ミートスパゲッティ
ぎゅうにゅう
牛乳
フレンチサラダ
しょうわ
(昭和40~50年ごろ)



カレーライス
ぎゅうにゅうしよ
牛乳・塩もみ
たまご
ゆで卵
しょうわ
(昭和51年ごろ)



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続けることができるように、学校給食は食育の教材としての役割も担っています。